

野木町 議会 だより

第142号
令和5年8月1日

令和5年5月臨時会/6月定例会



コウノトリの食事のひと時

(撮影協力:猪野晋平氏)

議会人事の改選	②～③
会期日程・議案の審議結果	④～⑤
主な議案ピックアップ	⑥
一般質問(5議員)	⑦～⑪
議会の主な活動記録	⑫

野木町議会の新体制がスタート

令和5年5月10日（水）に第2回野木町議会臨時会が開かれ、正副議長の選挙、各常任委員・議会運営委員・小山広域保健衛生組合議会議員の指名、監査委員の選任など、議会人事の改選を行い、野木町議会の新体制がスタートしました。

議長及び副議長



【議長】まつもと 松本 こうじ 光司



【副議長】ま 眞瀬 せ 薫正 よしまさ

議長就任挨拶

この度、第30代野木町議会議長を拝命し、身に余る光栄であると共に、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

さて、前回に続き50%を切った今回の町議会議員選挙の投票率の低下は、地方自治の由々しき事態であります。こうした状況を脱するには、町民の皆さまに議会を身近に感じて頂けるよう「議会の見える化」が必要に迫られております。

議会は、「町民が主役」「町民のため」の政策を最終決定する意思機関であります。二元代表制のもと、監視機能を見失わず執行部とは緊張関係を保ちつつ信頼関係を築き、議員同士の絆を深め町民の皆さまの期待と信頼に応えるべく最善の努力をいたす所存であります。そのためには、町議会のチーム力が発揮できるよう多様な意見に耳を傾け、「議場の公正円満な運営」に全力を注いで参ります。

町民の皆さまには、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。

各委員会の構成メンバー

◎委員長 ○副委員長

総務経済常任委員会（定数7人）



・野田光典 ・館野崇泰 ・折原勝夫 ・館野孝良
 ・松本光司 ◎坂口進治 ○黒川 広

後列
 前列

文教民生常任委員会（定数7人）



・宮崎美知子 ・久木亘佑 ・鈴木孝昌 ・針谷武夫
 ・眞瀬薫正 ◎小川信子 ○梅澤秀哉

議会運営委員会（定数6人）



後列 ・折原勝夫 ・宮崎美知子 ・小川信子
 前列 ・黒川 広 ◎鈴木孝昌 ○坂口進治

予算決算常任委員会（定数13人）



・宮崎美知子
 ・眞瀬薫正
 ・館野孝良
 ・坂口進治
 ・鈴木孝昌
 ・黒川 広
 ・針谷武夫
 ・梅澤秀哉
 ・小川信子
 ・野田光典
 ・久木亘佑

○館野崇泰 ◎折原勝夫

その他の議会選出委員等

野木町監査委員

例月出納検査や決算審査など、町の財務に関する監査や住民監査請求に関する審査を行う委員

・館野 孝良

小山広域保健衛生組合議会議員

小山市、下野市、上三川町、野木町の2市2町で設置され、ごみ処理・し尿処理を共同処理する事務組合の議会議員

・宮崎 美知子 ・坂口 進治

令和5年 第2回 野木町議会臨時会

5月10日（水）に5月臨時会が開かれ、町長から提案された議案4件を審議しました。各議案の審議結果は以下のとおりです。

5月臨時会議案審議結果

議案番号	件名	賛成・反対	議決結果
第1号	令和5年度野木町一般会計補正予算(第2号)	全員賛成	可決
第2号	専決処分事項(専決第3号)の承認を求めること ※野木町税条例の一部を改正する条例	全員賛成	承認
第3号	専決処分事項(専決第4号)の承認を求めること ※野木町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	全員賛成	承認
第4号	監査委員の選任につき同意を求めること	全員賛成	同意



野木町議会からのお知らせ

議会を傍聴しませんか？

次回の定例会は9月7日（木）から開会予定です。



令和5年 第3回 野木町議会定例会

6月6日(火)から13日(火)までの8日間の会期で6月定例会が開かれ、町長から提案された議案14件を審議しました。各議案の審議結果は以下のとおりです。

会期日程

6月 6日(火)	本 会 議
6月 7日(水)	一 般 質 問
6月 8日(木)	一般質問／予算決算常任委員会／議会運営委員会
6月 9日(金)	総務経済常任委員会／文教民生常任委員会
6月 10日(土)～12日(月)	休 会 (議 事 調 査 日)
6月 13日(火)	本 会 議

6月定例会議案審議結果

議案番号	件 名	賛成・反対	議決結果
第 1 号	野木町税条例の一部を改正する条例	全員賛成	可 決
第 2 号	令和5年度野木町一般会計補正予算(第3号)	全員賛成	可 決
第 3 号	栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び 栃木県市町村総合事務組合同約の変更	全員賛成	可 決
第 4 号	佐野地区衛生施設組合が栃木県市町村総合事務組合から脱退するこ とに伴う財産処分	全員賛成	可 決
第 5 号	監査委員の選任につき同意を求めること	全員賛成	同 意
第 6 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めること	全員賛成	同 意
第 7 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めること	全員賛成	同 意
第 8 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めること	全員賛成	同 意
第 9 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めること	全員賛成	同 意
第 10号	農業委員会委員の任命につき同意を求めること	全員賛成	同 意
第 11号	農業委員会委員の任命につき同意を求めること	全員賛成	同 意
第 12号	農業委員会委員の任命につき同意を求めること	全員賛成	同 意
第 13号	農業委員会委員の任命につき同意を求めること	全員賛成	同 意
第 14号	農業委員会委員の任命につき同意を求めること	全員賛成	同 意

※折原勝夫議員は欠席のため、採決には加わっていません。

気になる議案をピックアップ!

5月臨時会

議案第1号

令和5年度野木町一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,318万円を追加し、総額を87億584万円とするものです。

〈内容〉

食費等の物価高騰で影響を特に受ける低所得の子育て世帯に対し、生活支援特別給付金として児童ひとり当たり5万円を支給するものです。

議案第4号

監査委員の選任につき同意を求めること

議会選任監査委員の退職に伴い、選任について同意を求めるものです。

館野 孝良 氏(再任) 大字川田在住



6月定例会

議案第2号

令和5年度野木町一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億3,899万円を追加し、総額を88億4,483万円とするものです。

〈主な内容〉

●新型コロナウイルス感染症対策事業

- ・住民税非課税世帯等重点支援交付金
(6,300万円)

エネルギー・食品価格等の価格高騰による負担増を踏まえ、住民税非課税世帯に対し1世帯3万円を支給するものです。

- ・プレミアム付商品券事業
(2,391万円)

町内商工業者及び町民に対する経営支援、生活支援を行い、影響緩和や地域活性化を目的としたプレミアム付商品券を発行するための実行委員会へ補助を行うものです。

※その他、10事業と債務負担行為補正及び地方債補正があります。

議案第5号

監査委員の選任につき同意を求めること

識見監査委員の任期満了に伴い、選任について同意を求めるものです。

岩崎 忠義 氏(再任) 大字佐川野在住

議案第6号～第14号

農業委員会委員の任命につき 同意を求めること

農業委員の任期満了に伴い、委員の任命について同意を求めるものです。

渡邊 初枝 氏(再任)	大字友沼在住
黒須 市郎 氏(再任)	大字川田在住
柿沼 誠 氏(再任)	大字佐川野在住
鈴木 誠 氏(再任)	大字南赤塚在住
古澤清一郎 氏(再任)	大字友沼在住
須見 和男 氏(新任)	大字友沼在住
酒井 吉一 氏(新任)	大字中谷在住
小林 剛 氏(新任)	大字野木在住
加藤 知子 氏(新任)	大字南赤塚在住

【質問要旨】

1. 高齢者の安全・安心の対策について
2. 高齢者の自治会脱会の例が増えているが町の対策について



坂口 進治 議員

問 引きこもりによる体力低下や認知症を予防するためのふれあいサロン事業の実施状況について伺います。

答 ふれあいサロンでは、65歳以上の一人暮らしや閉じこもりがちな高齢者等に対して、生きがいをづくり、健康づくりを行っており、町内16か所で実施しています。

令和4年度は、延べ352回、参加人数3,390人。また、フレイル予防対策として、保健師、栄養士、歯科衛生士、理学療法士等を派遣して健康づくり教室を実施しています。

昨年度は、嗅覚による認知機能をチェックするニテストを4会場で実施しました。



ニテストの様子

問 自治会の維持、継続の取組について伺います。

答 自治会加入率は、令和5年4月現在66.32%となっており、減少傾向です。加入促進のために、広報誌や町のホームページに啓発記事の掲載、また、転入、転居された方にはチラシの配布をして周知しています。

高齢者が脱会する原因として、会費の支払いや役員になる負担、自治会活動への不参加。またコロナの影響により、自治会活動が縮減や中止となり、交流やメリットが感じられないため脱会される方がいると考えられます。

今後役員さんの負担軽減のため、SNS等を利用した周知、配布等を検討していきます。

問 高齢者の外出手段について、従前からのデマンドタクシー、通院時タクシーに加え、高齢者外出タクシーとして5月より70歳以上のタクシー助成が開始されましたが、利用実績と評判について伺います。

答 デマンドタクシー利用状況について、令和3年度は8,425人、令和4年度は9,395人と増加傾向にあります。利用者については、85%が65歳以上となっており、高齢者の移動手段の一翼を担っています。また、長年の懸案でもありました友愛病院の復路便を4月より運行開始したところです。

次に、高齢者通院時タクシー利用については令和3年度301人、令和4年度363人で、前年度比20.6%の増になっています。

本年5月より開始した高齢者外出タクシーの1ヶ月の申請者は85人となっています。

今後においても、高齢者移動支援についてより良い改善を目指し検討したいと思えます。

問 町民より、巡回バス(タクシー)運行の声が多いが、AIによるオンデマンド運行の検討について伺います。

答 巡回バスについては、アンケートの中でもご要望をいただいている事案です。

町としては、デマンド交通が適切な公共交通と考えていますので、デマンド交通のさらなる充実を進めていきたいと思っています。

また、AIシステム導入については、本年度においてシミュレーションを行い、現在のシステムが令和7年度に入れ替えになる予定ですので、それに合わせて導入できるよう進めているところです。

【質問要旨】

1. 栃木市と小山市の将来の合流や統合の際本町の住民投票等の準備について
2. 震災時の停電について
3. 認知症の事前予防と事後対応について
4. 他市巡回バスの本町の経路について
5. 運動公園照明設備について
6. ゆ〜らんど施設の売却について



館野 崇泰 議員

問 運動公園テニスコートの夜間照明が壊れているとの指摘を受けたので改善願います。

答 6面の内、5面は水銀灯の照明で使用できますが、今、1面のみ夜間は使用不能で利用者にはご不便をおかけしています。全面LED化に向け取り替える予定です。

問 M7クラスの地震が70%の確率で起こると言われており、停電が予測されます。夜、真っ暗になるのは勿論、オール電化の家は水道、エアコンも止まります。ポータブル蓄電機、発電機は多岐に用途が使えます。購入の際に10分の1でも補助を出せませんか。

答 補助を出している自治体もあるので調査していきます。

問 認知症対策では近隣市町との整合、調整はとれていますか。

答 特に現在は行っていません。

問 「こがも」という古河市、境町、野木町に配られている情報誌には6月15日に認知症予防講座の案内が出ていますが、栄研化学様が協力事業者です。

答 承知していますが、あまりに直近であったので広報誌掲載には間に合いませんでした。パンフレットはひまわり館等に設置しました。



6/15 古河市での講演の様子

問 小山市、栃木市が合流する際は、本町も追従するとの事ですが住民投票が必須と考えますが、タイムスケジュールは。

答 アンケートは6割が「合併しない方が良い」ことから、それを基本に置いています。ただ、住民投票が必須ですので速やかに行いたいと考えます。

問 町長は1期目の時から、小山、栃木両市が合流するなら躊躇なく手を挙げると、間違いないですか。

答 手を挙げます。変わりありません。



問 手を挙げるという事は万歳するに等しいとご承知願います。

次の質問ですが、巡回バスではなく現行のデマンドタクシーを充実させていくとの事ですが、アンケートの利用状況によると87%が「利用していない」との事です。需要が増す分皮肉な結果になり、今1台1千万円の予算がかかっていますが、マックスで幾らまで出ず余地がありますか。関東真ん中に相応しくするには巡回バスはいずれ必要に迫られるでしょう。

答 現在、予算規模については検討しているところです。

問 ゆ〜らんど施設について、娯楽施設ではなくエニホールと一緒にお客様ゼロでも運営を余儀なくされますか。

答 ゼロだからといって続ける必要性はありません。検討段階にあります。

【質問要旨】

町の農業政策について



館野 孝良 議員

問 国は令和3年5月に「みどりの食料支援システム」を、県も「とちぎグリーン農業推進方針」を今年の3月に策定しました。有機農業の推進計画として位置付けられています。各市町でも協議会等の設置が推進されています。

有機農業に対する町の考えと取組について伺います。

答 有機農業については総合計画で支援をうたっており、環境負荷を低減する農業生産の取組への支援を行っています。積極的に有機農業に取り組む事業形態に対して今後も支援させていただきます。

総合計画ではSDGsの理念に沿って環境負荷低減の農業を推進していくことになっているので、国や県と連携し、理解促進等話し合う協議会の立ち上げを検討したい。これによって町内に有機農業が広がってほしいと願っています。

問 農業後継者と農地の保全についての町の方針を伺います。

答 新規就農者の方には認定新規就農者として、国や県の補助制度を活用し最大限支援していきたい。町外からの就農を目的に移住してきた方にも支援体制を講じていきたい。

農地の保全については基盤整備や農地の集積を図り、多面的機能支払交付金を活用し保全に努めていきたい。

また、地域計画の策定を推進したい。

問 2年前に策定された第3期野木町地産地消・食育推進計画の進捗状況と今後について伺います。

答 野木町地産地消・食育推進協議会を設置し、生産・流通部会、地域家庭部会、乳幼児・児童・生徒部会の3つの専門部会を設け、計画・目標を定め活動しています。

今後も食の大切さを理解し、健康な心と体を育み、豊かな人間性を築くために地産地消・食育活動推進をしていきたい。

問 有機農業の推進協議会、具体的にいつ頃から予定しているのでしょうか。

答 今年度に構成メンバーの検討を始めて、なるべく早い段階で進めていきたい。

問 私も有機農業にはできる限り協力し、参加したいと思います。

最後に町長の有機農業に対する意気込みはどうでしょうか。

答 国としても有機農業に向かう方針が定まっており、町もどのように支援し、伸びていける農業の体制を構築したいと考えます。

指導者的な方もいるので、全町民がそのような方向性が組めるよう協力し、努力してまいりたいと思っています。



【質問要旨】

1. 子育て支援について

2. 動物愛護について



小川 信子 議員

問 保育園の待機児童はいないということでしたが、年度途中で野木町に転居してきた方や、就職活動をするために子どもを預けたいという方に対する受入れはどのようになっているのか伺います。

答 年度途中で転入された方は、随時受付を行いまして、希望に応じて対応しています。働いていて子どもを預けるところがないという方をまず受入れするようになりますので、場合によっては一時預かりという形で対応を取っています。

問 自営業やサービス業など、土日祝日が休みではない仕事をされている保護者の方も多いと思います。今後、日曜・祝日も保育を要望する方が増えてきた場合はどのような対応が考えられるのか伺います。

答 休日保育は、保育園については現在対応していますが、学童保育は日曜日及び祝日等の対応はしていない状況です。

現在、児童館、児童センターの利用も可能な状況となっています。今後はニーズ調査を定期的に行っていく予定ですので、ニーズに応じた対応の仕方については研究が必要になると考えています。

問 町内の猫の多頭飼育崩壊の実態を把握しているのか伺います。

答 猫に関しては犬のように登録を義務付ける法律がないため、隣近所から糞尿や足跡で車を汚すといった苦情が役場に入っ、無責任な飼い方や、野良猫、多頭飼育などの把握をする状況です。

問 ご高齢の一人暮らしの方が多頭飼育する傾向にあるのではないかと思います。民生委員や見守りの方がその兆候に気づき、情報共有することで多頭飼育崩壊の防止や高齢者のペット問題に対応できないでしょうか。

答 ご意見としてお伺いさせていただければと思います。

問 さくらねこ無料不妊手術事業について、その事業でさくら耳になった猫をどのように地域猫活動につなげていくのか伺います。

答 町では令和4年8月、どうぶつ基金が行う「さくらねこTNR事業」に参加しています。行政枠としてさくらねこ無料不妊手術事業のチケット交付窓口となり、地域猫活動を行うボランティアさんにチケットを配布しています。令和4年度には11月から5回、63枚の申請を受け、44枚が使用されています。

地域猫活動は地域の方々、行政、ボランティアの方、皆さんの理解がなければ難しい活動と思っています。



※TNR（トラップ、ニューター、リターン）の印として耳先をV字カットし繁殖を防止し、地域の猫、さくらねことして一代限りの命を全うさせ、飼い主のいない猫に関わる苦情や殺処分の減少に寄与する活動

【質問要旨】

小・中学校における
諸問題の対応について

梅澤 秀哉 議員

問 東京都杉並区立小学校で発生した児童の事故(校庭で転倒した際に、地面から飛び出していたクギで大けが)を受け、町と学校がとった対応およびその結果を保護者に説明報告はされていますか。

答 校舎の内外を問わず、児童生徒が触れる危険性のあるものについて常日頃から点検しています。併せて、今回の事故を受けて職員全員で校庭の目視点検を行い、クギの飛び出し等は無いかを確認しましたが、改めて保護者への説明報告は行っていません。

目視だけでは不安があるので、今後、金属探知機を購入して点検していきます。

問 点検時に人手が必要な場合、保護者や地域の方々の協力を仰ぐ必要もあるのではないのでしょうか。

答 教員の負担軽減、コミュニティスクールとしての学校運営の観点からも、学校運営協議会で検討の上、依頼することも可能と考えています。

問 小中学校の情報(メディア)リテラシー教育に対する町の認識と今後の対応について伺います。

答 小中学校の情報リテラシー教育は情報活用能力の育成にあると思っています。情報収集の段階で、それが正しい情報かどうかを選別し判断する力を養うことが大切です。学校においてICTを活用しながら、必要な情報を正しく見極め、活用する力を育ていけるよう取り組んでいます。

問 カッターナイフは鉛筆削りには便利なツールですが、一歩間違えると手を切ってしまう危険もはらんだ二面性があります。

SNS等の情報ツールも便利な面もあるが、炎上や犯罪などの危険性があるということ、この点の教育はどのように考えていますか。

答 情報モラル教育は大変重要なことと認識しており、学級活動や道徳の人権教育などでインターネット等SNSの取扱いを学ぶ機会を設ける他、全ての教育活動で折に触れ情報モラルに関する指導を行っています。

問 食物アレルギー対応給食の提供について、町の考えを伺います。

答 今年度は76名(全体の約4.2%)を対象に、児童生徒の命の安全を最優先に考え、配膳前にアレルギー食材を除去する方法、除去できない献立では代替食を持参する一部弁当、除去が全く不可能な場合は完全弁当の3つの方法をとっています。

問 食物アレルギー対応給食を現在提供できない一番の理由は何でしょうか。

答 各校の調理室は古くアレルギー対応食を想定しておらず、対応には大規模な更新工事が必要な他、対応する調理員等、諸条件を整えなければ現時点では対応は困難です。

センター方式への変更も考えられますが、メリット、デメリット等、先をいろいろ考えながら進めていきたいと思っています。



議会の主な活動記録

令和5年

- 5月 10日(水) 議会全員懇談会
第2回野木町議会臨時会
議会運営委員会
議会全員協議会
- 16日(火) 議会全員協議会
- 23日(火) 全国町村議会議長会
議長・副議長研修会
- 24日(水) 栃木県町村議会議長会
議長・副議長研修会
(山梨県・栃木県共催)
- 25日(木) 議会運営委員会
- 30日(火) 議会全員協議会
- 6月 6日(火)～13日(火)
第3回野木町議会定例会
- 8日(木) 予算決算常任委員会
議会運営委員会
- 9日(金) 総務経済常任委員会
文教民生常任委員会
- 27日(火) 議会全員協議会
- 28日(水) 第1回栃木県議会議長会・研修会
- 7月 1日(土) 野木町消防団夏季点検
- 13日(木) 議会全員協議会
予算決算常任委員会
- 21日(金) 初当選市町村議会議員研修会
- 29日(土)・30日(日)
第32回ひまわりフェスティバル



野木町議会のページ



(野木町公式 HP 内)

議会の情報はこちらから
ご覧いただけます。

野木町議会

検索

URL :

<http://www.town.nogi.lg.jp/page/dir.000066.html>

* 編集後記 *

5月より議会の新体制がスタートし、議会だより編集委員も新人議員2名を含め新しい顔ぶれとなりました。

議会だよりの顔となる表紙写真のコンセプトを編集委員会で検討した結果、「野木町の豊かな自然」とすることとなりました。

今後どんな写真が表紙となるかお楽しみに！

さて今号では、議長はじめ議会の新体制の紹介及び5月臨時会並びに6月定例会の内容についてお届けしますのでご一読ください。

議会だより編集委員会では、町民の皆さまにとって議会が身近なものとなるよう、議会だよりにより町民の皆さまの声を反映していくための努力をしていきたいと思っています。

2年間よろしくお願ひいたします。

議会だより編集委員長 梅澤 秀哉



今期はこのメンバーで議会だよりの編集に携わります！

《編集発行 議会だより編集委員会》

委員長 梅澤 秀哉 副委員長 久木 亘佑
委員 舘野 孝良 委員 黒川 広
委員 小川 信子 委員 野田 光典

〒329-0195 栃木県下都賀郡野木町丸林 571

TEL 0280-57-4106 FAX 0280-57-4190

E-mail : gikaijimukyoku@town.nogi.lg.jp